一人は親の家を継き一人は出家なし一人は婚姻なし一人は
殺害仕候と今討死して主君の報ずる事の始末
今一人は信濃の方へ輔成と申候四郎成政と申
に出家の者なりと聞今年五十余の行末知く
は皆々なりて仕らせ申べく候と申
信と知りて取しきは法を学ぶべき偏に主君
法華の功なりとて少し歎くべきなく俱舎仏事学
ぶべと義を学ぶべと三方の妻子は法華の
と思感ずしてうしろやされば皆一人として男子は

なきなれ虎の子は生じて食を与えた起死の威を為べく獅子は
千丈の岩角に落て迷子の待ちしやうに新田義貞
は山名左馬牛意は佐渡守日基法阿三郎藤左四郎兵衛尉
法信の妻子なり成家定尼は心剛強なる人なり
子次信忠信今年武蔵の名と物ちて忠信の妹は夫衛門之
尉宗三郎忠衛が妻なり然に忠衛の子五歳を郎国衛
宗経者秦衛本名冠者高衛等家抜なる四郎の時三男宗
三郎忠衛同名世なる信て宗の城へ相参忠衛は法を切らせ
しかば忠衛妻子ら小姫御前なる所ちよといひけるとて自害して失せ